

2026 ズバリ! 的中



世界史

慶應義塾大学

イギリス本国の発した印紙法に対する 植民地側の主張に関する論述問題が的中

入試問題

2月13日実施 経済学部
大問II 問10②

河合塾

高3 1学期 世界史論述
第10講 2

II ス페인によるアメリカの植民地支配について述べた文章を読んで、問6～問10に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて〔解答用紙A（マークシート）〕の所定の解答欄にマークしなさい。

コロンブスによる「発見」を支援して以降、スペインはメキシコ以南のアメリカ大陸に積極的に進出した。先導したのは「征服者（コンキスタドール）」と呼ばれる人々で、彼らは金銀財宝を求めて探検の計画を練り、王からは許可だけを得て、自ら資金を調達し、新大陸へ渡った。彼らは数的に劣勢でありながら A 先住民の王国 を打ち破り、以降3世紀にわたるスペインの植民地支配が始まる。

征服活動と並行して先住民統治の試行錯誤が始まったが、その初期段階においては実験的な試みも見られる。例えばメキシコに行政官として派遣されたバスコデーキロガは、私財を投じて先住民集落を作り、人文学者トマス・モアが B『ユートピア』 で描いた架空の理想社会の特徴を、新大陸において再現しようとした。土地を共有財産とし、全住民が同じ質素な衣服を着て1日6時間労働に従事するキログの計画村は、うまく経営されていたことが知られている。しかしその後、本国スペインが C 改革的な思想 に対して不寛容になると、このような試みは行われなくなった。

征服活動が一段落すると、スペイン王室は新大陸における王権の強化に乗り出す。本国の行政機構が導入され、それまで征服者らが担っていた業務は王室官僚の手に渡った。こうして植民地体制が整備されるとともに、メキシコおよびアンデスで発見された D 銀山 の開発も本格化していった。なお、E 17世紀以降 に形成された北米地域の植民地とは異なり、スペイン領アメリカ植民地では支配者であるスペイン人と被支配者である先住民との間で混血と文化混濁が進行した。

問10 下線部 E に関連して、次の文章を読んで、以下の①、②に答えなさい。

北米地域では17世紀にフランスは（ア）を、オランダは（イ）を拠点にそれぞれ植民地を形成した。イギリスは英蘭戦争を経てオランダ領植民地を領有し、18世紀には七年戦争を経て領土を大きく拡大する。しかし後者が引き金となり、オイギリス本国と植民地の根本的な対立が表面化すると、それまで相互に結びつきのなかった個々の植民地は共同して独立へと向かっていった。

② 下線部 a に関連して、次の資料は、イギリス本国の発したある法に対して、植民地側が合同で出した声明からの抜粋である（必要に応じて表現を改めた）。資料を読み、この声明が批判している法について、イギリス本国はこの声明の後どのような対応をとったか、法の名称および植民地側の主張と、その主張の背景にある、イギリス議会制度上の植民地の地位に触れつつ、〔解答用紙 B〕の所定の欄で説明しなさい。

当議会のメンバーは（中略）当該植民地の状況について時間の許す限り慎重に検討した結果、当議会の不可欠な義務であると判断し、以下の宣言を行う。これは、植民地住民の最も本質的な権利と特権、ならびに近年の議会法により彼らが置かれている苦境に関し、謹んで我々の意見を表明するものである。

（中略）

3. 人民の自由およびイギリス人の確固たる権利にとって、不可欠にして不可分であることは、彼ら自身によって直接与えられた同意なしには、あるいはその代表者によって与えられた同意なしには、いかなる税も課されるべきではないということである。

（資料出所は省略する。）

【基本例題】

2. イギリスは、1765年に印紙法を施行し、植民地側は「代表なくして課税なし」と主張して反対した。植民地側が「代表なくして課税なし」と主張した内容を、より具体的に60字以内で説明せよ。（島根県立大学）

【解答例】

2. 植民地側がイギリス本国議会で代表議員を送っていない以上、本国議会は、植民地に課税する権利を有していないと主張した。